

編集室

* 人の生理機能を計測するセンシング技術、及び計測されたデータを解析する情報処理技術の進歩によって、人の生理機能を計測・評価して、これに応じて対処する取組みが盛んになってきている。

* そこで、生体機能の計測・評価のために理解すべきポイントを整理することを目的に、「生体機能の“安全”な計測・評価を目指して」と題した小特集を企画した。この小特集では、様々な分野で取り組んでおられる研究者の方々に、理論や技術の観点から、及びリハビリやスポーツでの応用の観点から、生体機能計測・評価の現状と今後の課題について紹介頂いている。

* この企画を進めている頃、高齢ドライバーによる悲惨な事故が大きく報道された。今後ますます高齢者が増

えていく日本では大きな社会的課題である。高齢者に運転免許の自主返納を促す取組みもあるが、地方都市では車が生活必需品であり運転免許を返納することもできない事情もある。

* このような課題に向けて、自動運転や自動ブレーキ機能など車を進化させる研究開発が盛んに行われているが、ドライバーの生体情報を常にセンシングし、その結果に基づいて車を制御する取組みもあってよいように思う。

* いずれにしても、人の生体情報をセンシングし、その結果に応じて対処する技術は多くの応用分野に適用できると考えられ、多くの読者の方にこの小特集が一助となれば幸いである。（編集特別幹事 井ノ上直己）

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌に掲載された著作物の複写複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。複写複製を御希望の方は、一般社団法人学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。

なお、複写以外の許諾（著作物の転載、翻訳等）に関しては、委託しておりませんので、直接本会へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

著作物利用許諾申請：<http://www.ieice.org/jpn/copyright/tensai.html>

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

The IEICE authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permission of these rights, please refer to the homepage of JAC (<https://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

IEICE Secretariat Office,

E-mail: permission@ieice.org

Permission request form: <http://db.ieice.org/chosaku/sinsei/index-e.php>